

愛のひだまりで心豊かに育つ ひだまりだより 令和7年度 9月号



社会福祉法人温和会 ひだまり認定こども園 園長:阿嘉禎貴 電話:936-8084

暦の上では秋を迎える9月となりました。お盆も終わり涼しくなる季節になりますが、まだまだ暑さの続く日々が続いています。

さて、園内では、秋を感じさせる装飾づくりや、敬老の日に向けてのプレゼント制作に取り組んでいます。さらに、運動会に向けてリズムダンスや運動遊びを楽しみながら、心も体もぐんぐん成長している姿が見られます。

まだまだ暑い日が続きますので、子どもたちが元気いっぱい過ごせるよう、ご家庭でも体調管理へのご協力を宜しくお願いします。



保育目標

- ◎ 敬老の日を知り、おじいちゃん・おばあちゃんに感謝の気持ちを持つ。
- ◎ 運動会に向けて体力づくりをする。

9月行事予定

- 3日(水):避難訓練
- 8日(月):身体測定
- 15日(月):敬老の日(休園)
- 20日(土):お招き会
※午後は家庭保育のご協力をお願いします
- 23日(火):秋分の日
- 25日(木):お誕生日会
お弁当持参



おじいちゃん!おばあちゃん! 全員集合!!

9月20日(土)は、お招き会!!9:30スタート!!

場所:ひだまり認定こども園 3Fホール

今年も1部は可愛い子どもたちの演舞、2部は癒しのステージ・・・歌や踊り、楽器演奏等。子どもたちと一緒に美味しい食事を楽しめます!!

**ひだまり認定こども園が最高の一日を
プレゼントします!!**

子育てへのメッセージ

敬老の日を真剣に伝えたい!

社会福祉法人 温和会
理事長 阿嘉よね子

私を知って長いお付き合いをくださる方からこんな言葉をいただくことがあります。

「あなたのご両親からたっぷりの愛情を受けて育ったのでしょうか。そして、ご両親も素晴らしい方であり、あなた自身もそのことを誇りに思っているのですね」と。

まさにその通りであり、敬老の日を迎えるたびに亡き両親を想い、自分の育ちに感謝すると同時に、高齢化社会における「老い」という現実に思いを巡らせます。

保育に携わって40余年。その中で、孫の子育てを支えるお年寄りや、日々子どもたちを見守ってくださる祖父母の姿に出会ってきました。長年の保育の中で、おじいちゃんやおばあちゃんから多くの知恵をいただくことも少なくありません。そしてその年月の中で、「老い方」が人それぞれに違うことを目のあたりにしてきました。

病とともに生を生き抜く姿。子どもに迷惑をかけまいと自ら施設に入った母親。独り暮らしをしながら誰かを待ち続ける老人。家族の中で居場所を失い意欲をなくす人。気丈に自立を選んだおばあさん。その姿は実に様々でした。今、世の中では高齢者をめぐる悲しい事件が毎日のように報じられます。そのたびに私は、「老いる」ということ、そして「人間の存在価値」とは何かを考えずにはられません。老いは誰もが通る道でありながら、個人の問題として背負わされがちです。しかし、実際には、個人では背負いきれない深刻さと複雑をはらんでいます。

私はふと想うのです。もし他界した両親が今も生きていたら、今の私の姿に大きな拍手を贈り、苦しい時には励ましてくれたらどうだろう、と。

よく言われますね。「親は生きているだけで大きな価値がある。」「親孝行をした人の家は繁栄する」「自分が親に尽くした分しか自分が老いた時に子から返ってこない」こと。

高齢化は、金持ちであれ貧乏であれ、誰にでも訪れます。しかし老いは、お金や物や環境だけでは解決できません。私が思う最高のケアの方法は・・・「優しい心」です。

どうぞ親を大切にしてください。あなたをこの世に送り出してくれた、ただ一人の父であり母であることを、どうか忘れないでほしいのです。

